

オーバーフェンダー 取扱説明書

はじめに

- ※本製品は新規登録車への取付はできません。必ず車両登録後に取付を行ってください。
※本製品は取付後に車幅が変更になります。その為構造等変更検査が必要になります。

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

本製品を安全に正しくご使用いただき、機能・性能を十分に発揮させる為に、必ず取付作業前・ご使用前に本取扱説明書をお読み下さい。取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、正しく安全に使用して下さい。

- 本製品及び付属品を誤った使用方法・取扱いによって発生した破損、事故、損害などに関して弊社は一切の責任を負いかねます。また、クレーム・アフターサービスについても一切お受けできませんので、予めご了承下さい。
- 本製品はノーマル車両を基準に開発され、各車種専用を設定しております。
装着車種と適合車種を確認し、適合車種以外や装着部が改造された車両への装着は行わないで下さい。
適合車種以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品及び本取扱説明書は改良のため予告なく仕様を変更する場合がありますので予めご了承下さい。
- 本取扱説明書は自動車メーカー発行の取扱説明書や整備書等と共に大切に保管下さい。

適合車種

商品名	オーバーフェンダー
品番	TL250-A01
車名	TOYOTA LAND CRUISER 250
型式	GDJ250W、TRJ250W
年式	2024 年 4 月～
備考	GX グレード取付不可 前後片側 35 mmワイド

初版 2025 年 04 月 21 日

安全上の注意

本取付説明書では安全に作業を行っていただくため、お客様への危険レベルを次のマークで表示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、作業員または使用者が死亡または重傷を負う可能性がある場合



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、作業員または使用者が傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される場合

ご使用になる前に

⚠ 警告

- 本取扱説明書と自動車メーカー発行の整備書・サービスマニュアル等をよくご覧いただき、正しい作業手順や取付け方法をご理解の上、作業をお進め下さい。
- エンジン運転状態、平らではない場所、火気や薬品を扱う場所での作業は絶対に行わないで下さい。
- 車両が不安定な状態での作業は非常に危険です。車載ジャッキを使用した車体の持ち上げは絶対に行わないで下さい。車載ジャッキを使用すると車体が不安定な状態となり、車両が落下してケガをしたり、最悪の場合は死亡する恐れがあります。必ず自動車メーカー指定の位置にて自動車専用リフトかガレージジャッキとリジトラックを使用して下さい。また、リジトラック使用時でもボディ落下防止のため、必ず安全対策をして下さい。

⚠ 注意

- 本製品及びその他部品の着脱作業は、取り付け作業が責任を負うこととなります。地方運輸局長の認証を受けた自動車整備工場等で専用工具等を使用し整備資格を持った整備士の方の作業を推奨いたします。
- 走行直後の車両への作業は避け、エンジン周辺・マフラー・ブレーキ周辺などの温度が冷めたことを確認し、作業を行って下さい。
- 全ての作業は作業に適した服装・保護具を着用し行って下さい。

- 装着前に構成パーツが全て揃っているか確認して下さい。
- 製品は丁寧にお取り扱い下さい。落下などの強い衝撃を与えると、破損や変形をして確実な取り付けができなくなる場合があります。
- 塗装される場合は塗装前に必ず車両側へのフィッティング作業を行い、正確に装着が出来るかご確認の上で塗装して下さい。装着及び塗装後の返品はいかなる場合でもお受けできませんのでご了承下さい。

取付時の注意

⚠ 警告

- 本製品は各車種専用を設定されております。適応車種以外への装着は行わないで下さい。
- 取付け確認を行って設計しておりますが、万一、自動車メーカーの仕様変更や追加装備等の変更により取付けに何らかの問題が発生した場合は直ちに作業を止め、標準仕様へ戻し弊社までご連絡下さい。

⚠ 注意

- 取付けの際はボディなどに傷を付けないよう十分に注意して下さい。必要な場合は表面保護フィルムなどで製品または車両を覆い取付作業を行って下さい。
- 各ボルト・ナットを適正トルクで締め付けて下さい。適正トルクで締め付けない場合、ボルト・ナットのネジ部の破損や、ゆるみ、部品脱落の原因となります。

- 車種によっては純正部品を再使用する場合がございますので、部品取り外しの際は破損や紛失にお気をつけ下さい。

★ 両面テープの接着について

- (1) テープを貼り合わせる材料（被着体）表面の油分、水分、埃や汚れを除去して下さい。
- (2) テープ本来の性能を発揮させるためには、十分な圧着及び養生をお願いします。
推奨養生期間は室温（23℃）で24時間以上です。
- (3) 低温下での接着は十分な接着力が発現しない恐れがありますので、15℃以上の環境下で作業されることをお勧めします。また、冬期の作業で冷えている製品及び被写体を屋内に持ち込む場合は、結露には十分注意して下さい。

取付後の確認

⚠ 注意

- 各ボルト・ナットが適正トルクにて締め付けられているか、部品の欠落等がないか必ず確認して下さい。
- 走行中に異音や異常な振動等の異変が生じた場合は、速やかに安全な場所に車両を停止し、取付けを依頼した自動車整備工場等で点検を行って下さい。

使用上の注意

⚠ 注意

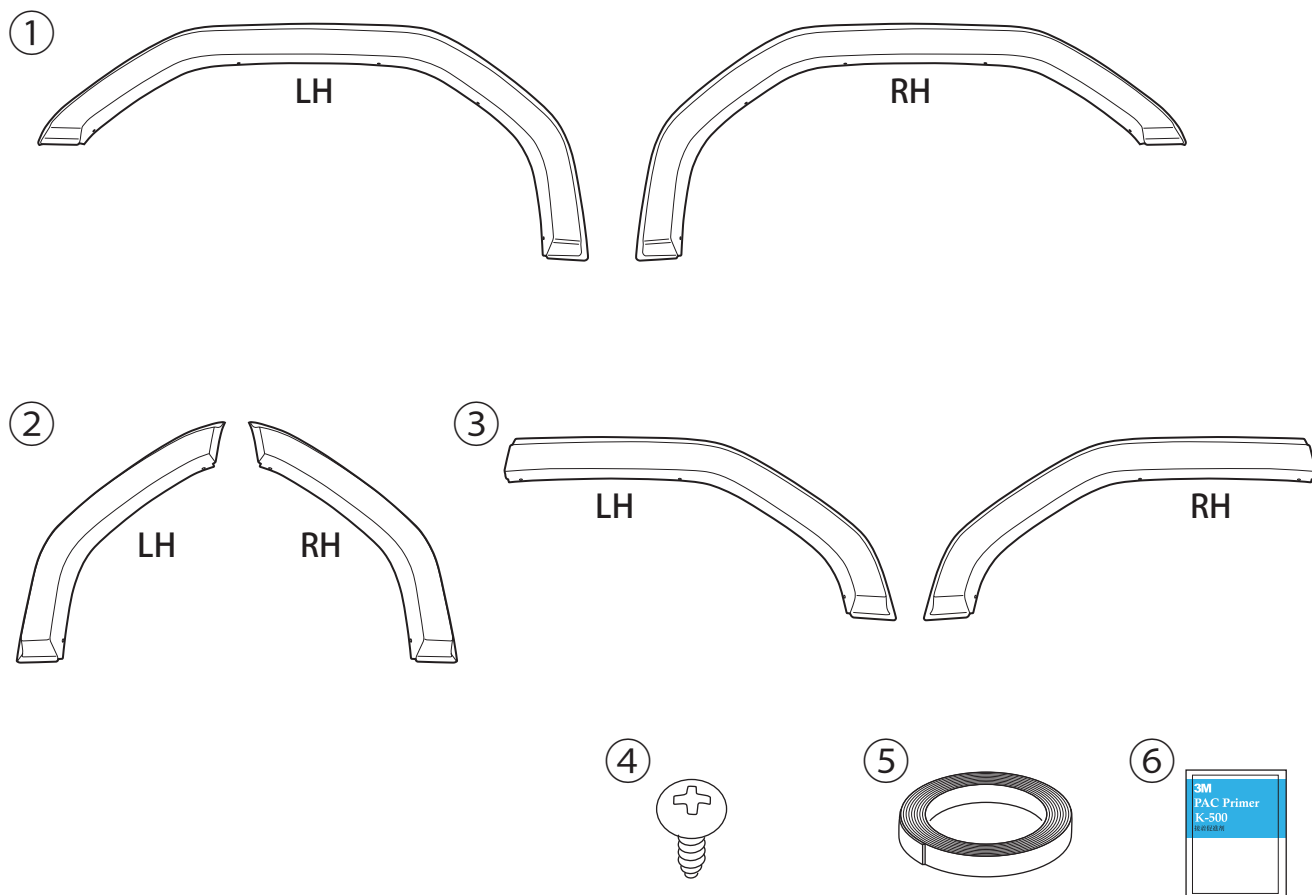
- 油脂類・有機溶剤などの薬品（ガソリン、軽油、ブレーキオイル、エンジンオイル、グリース、シンナー等）を付着させると、変色やシミの原因となりますので絶対に避けて下さい。万一付着した場合は、柔らかい布等で速やかに拭き取り、中性洗剤の水溶液を用いてよく洗い流して下さい。
 - 日常点検はドライバーの責任です。快適に運転していただくために、必ずお車を運転する前に日常点検を行って下さい。
 - 本製品使用期間中は、定期的に各締め付け部の緩みや破損部分がないか等を点検していただき、必要に応じて規定トルクでの増し締め・調整・清掃を行って下さい。
 - 万一、製品や車両側取付部等に亀裂・変形等の異常や不具合が生じている場合は、そのままの使用は避けてお買い求めの販売店または取付けを依頼した自動車整備工場へご相談して下さい。
- 装着後の製品や車体の経年変化から発生する装着傷や装着跡につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承下さい。

廃却について

- 廃却する場合はお客様ご自身で対処せず、必ず自動車整備工場や自動車部品解体業者などの専門業者に依頼して下さい。

製品内容の確認

● 取付け前に製品内容の有無、数量が全て揃っているかを確認して下さい。



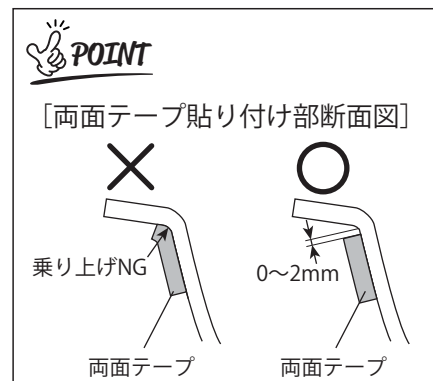
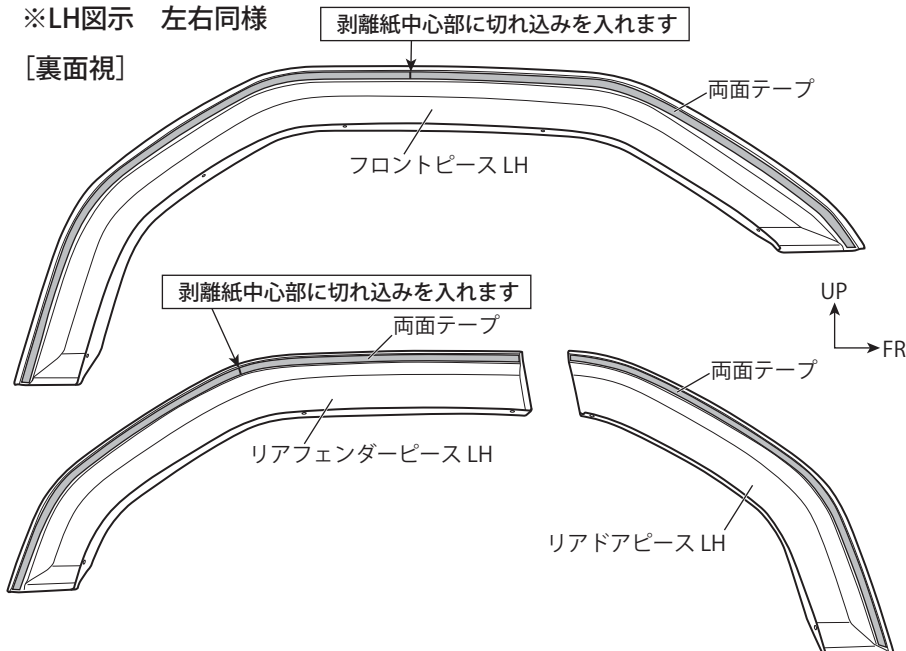
	品名	サイズ	数量
①	フロントピース (RH/LH)	AES 樹脂 35mmワイド	各1
②	リアドアピース (RH/LH)	AES 樹脂 35mmワイド	各1
③	リアフェンダーピース (RH/LH)	AES 樹脂 35mmワイド	各1
④	タッピングビス	M4×L12mm	20
⑤	両面テープ	t2mm×w10mm×L3m	2
⑥	PACプライマー	K-500	2

組付手順

1. 両面テープの貼付け

- ①フロントピース、リアドアピース、リアフェンダーピース裏面の両面テープ貼り付け面を清掃・脱脂し、PACプライマーを塗布して十分に乾燥させてください。
- ②フロントピース、リアドアピース、リアフェンダーピース裏面に両面テープを貼り付けます。
- ③フロントピース、リアフェンダーピースに貼り付けた両面テープ中心部の剥離紙に切れ込みを入れます。

※LH図示 左右同様



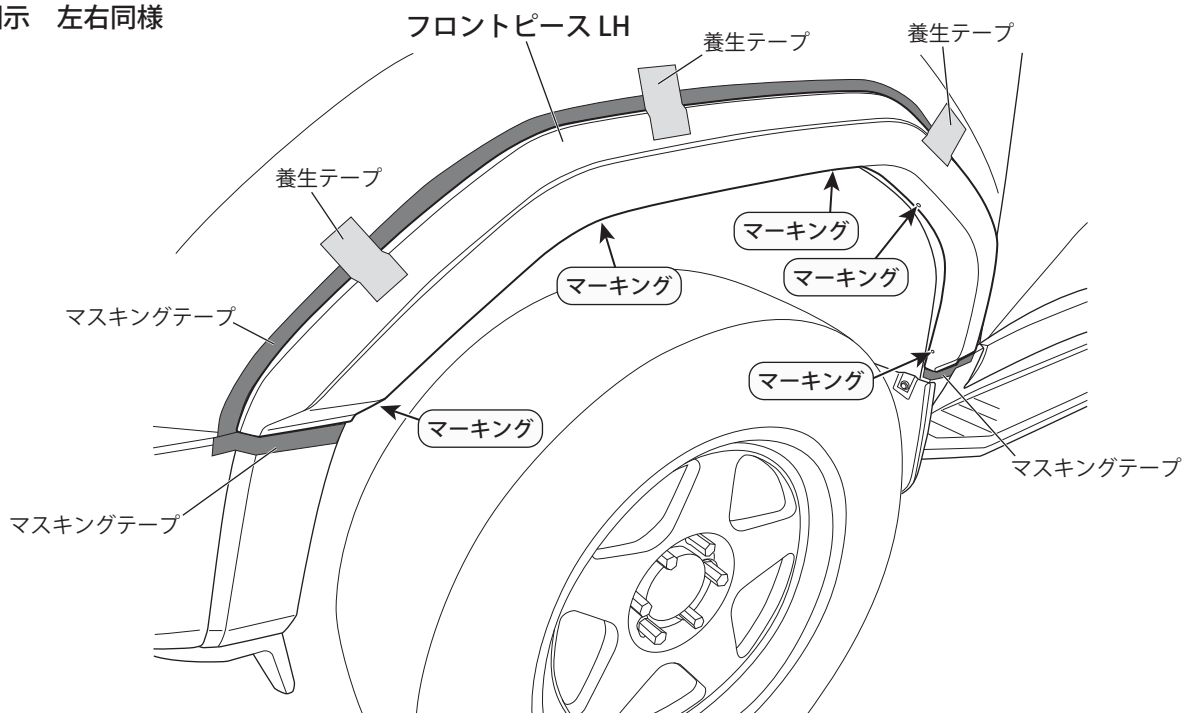
POINT

- ◎ 接着面の清掃と脱脂は大事です。
- ◎ 作業時の気温が低いと接着が弱くなります。
ヒートガン等で表面温度を20℃～30℃にあたためると接着性が良くなります。

2. フロントピースの仮当て

- ①フロントピースを車両オーバーフェンダー形状に合わせて仮当てし、養生テープ等で車両に仮固定します。
- ②フロントピース外周端末に合わせて車両にマスキングテープを貼り付けます。
- ③フロントピース下面の穴位置に合わせて車両オーバーフェンダーに穴あけ位置をマーキングしてください。
(左右各5箇所)
- ④仮固定した養生テープを剥がしてフロントピースを取り外します。

※LH図示 左右同様

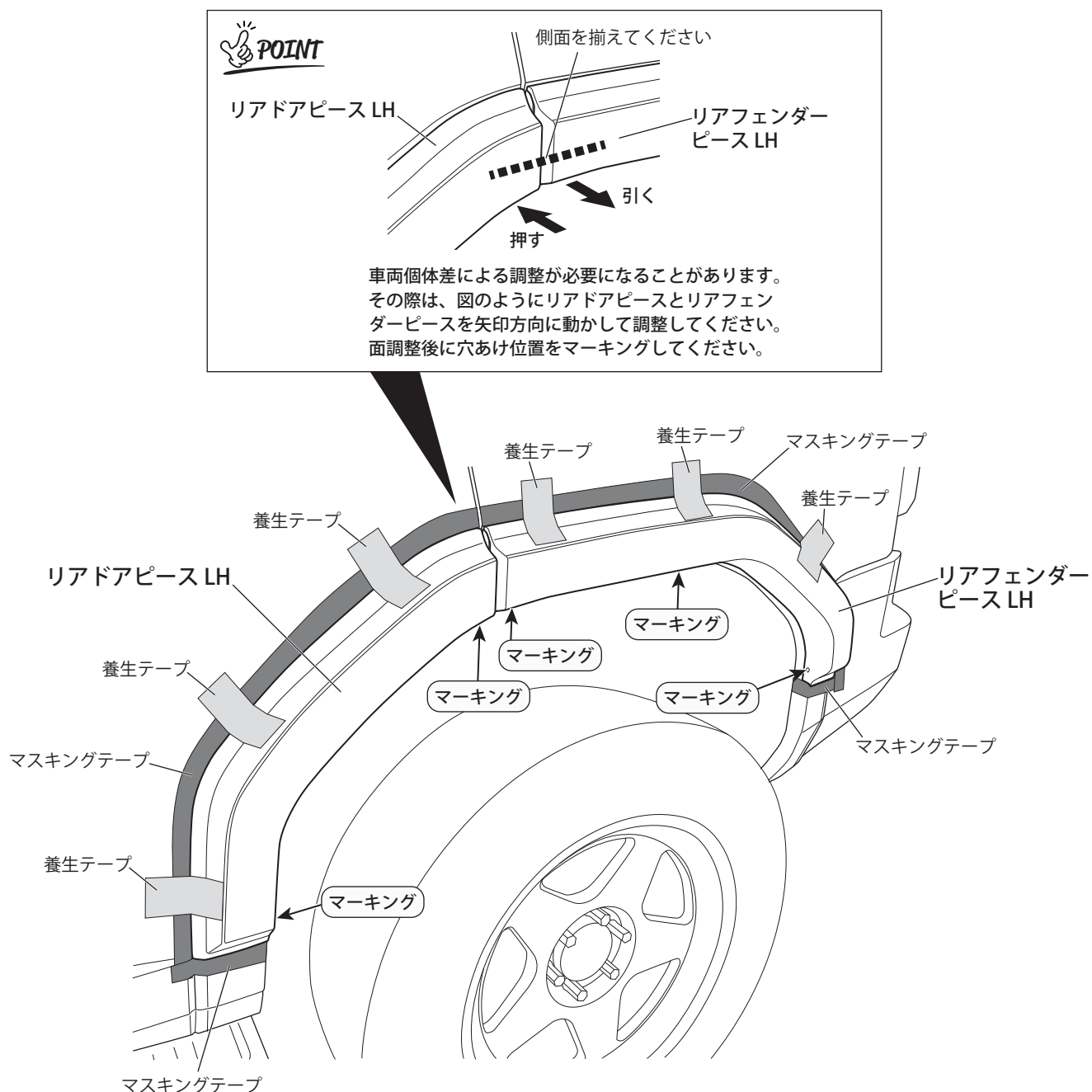


組付手順

3. リアドアピース、リアフェンダーピースの仮当て

- ①リアドアピース、リアフェンダーピースを車両オーバーフェンダー形状に合わせて仮当てし、養生テープ等で車両に仮固定します。
- ②リアドアピース、リアフェンダーピース外周端末に合わせて車両にマスキングテープを貼り付けます。
- ③リアドアピース、リアフェンダーピース下面の穴位置に合わせて車両オーバーフェンダーに穴あけ位置をマーキングしてください。（左右各5箇所）
- ④仮固定した養生テープを剥がしてリアドアピース、リアフェンダーピースを取り外します。

※LH図示 左右同様



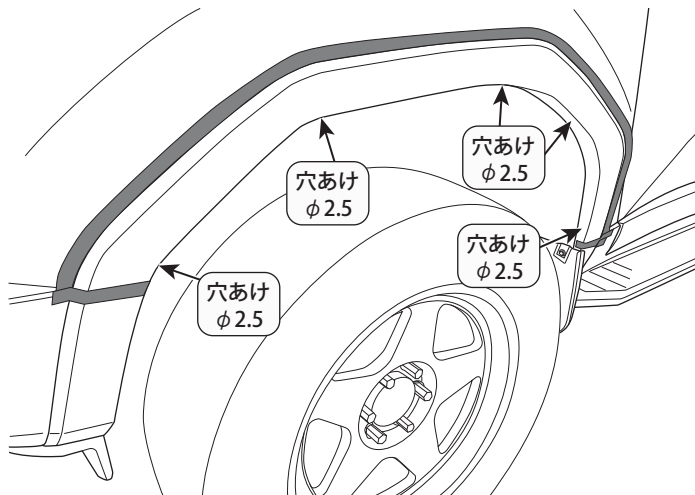
組付手順

4. 穴あけ加工

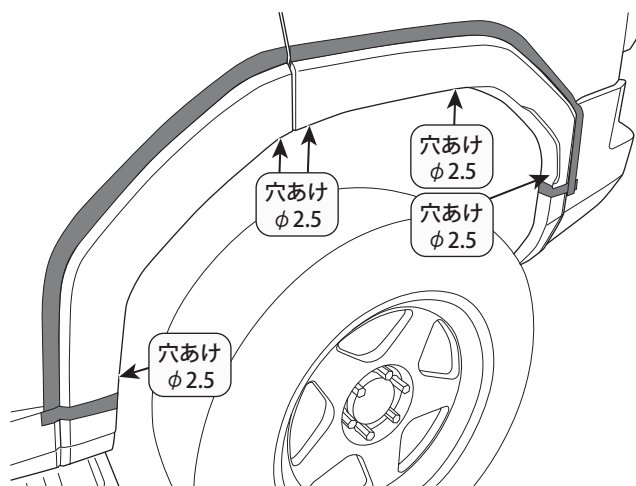
- ①手順2-③、手順3-③でマーキングした箇所にφ2.5の穴をドリルで開けてください。（左右各10箇所）
- ②穴あけ後は、加工穴周囲のバリを除去してください。（左右各10箇所）

※LH図示 左右同様

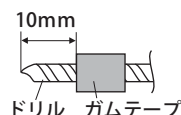
[フロント側]



[リア側]



◎ 穴あけ作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。

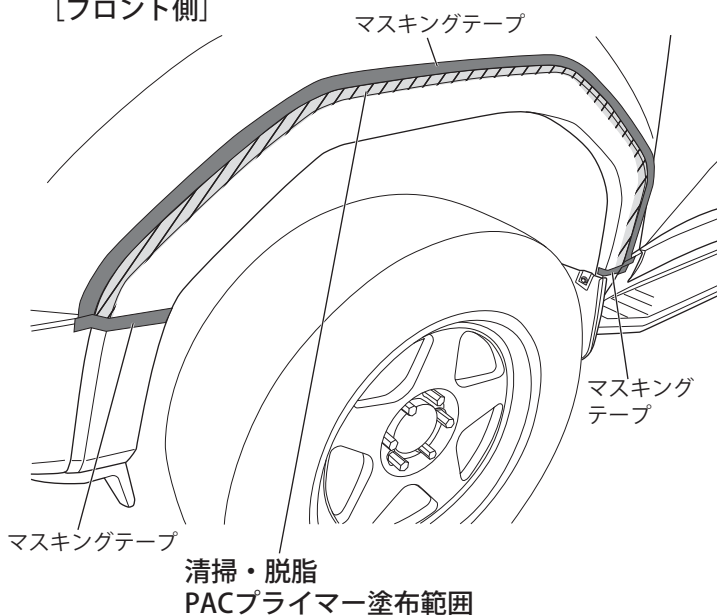


5. 車両側両面テープ貼り付け面の清掃・脱脂、PACプライマー塗布

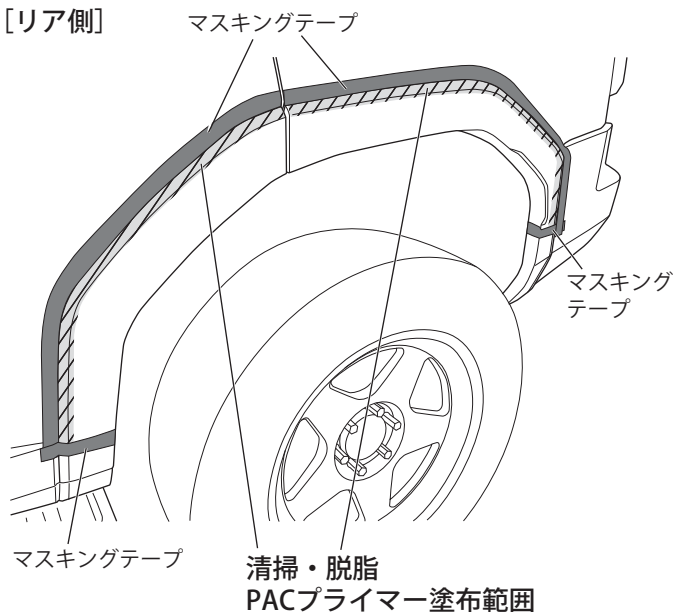
- ①車両側の両面テープ貼り付け面（下図斜線部）を清掃・脱脂し、PACプライマーを塗布して十分に乾燥させてください。
- ②全てのマスキングテープを剥がします。

※LH図示 左右同様

[フロント側]



[リア側]



- ◎ 接着面の清掃と脱脂は重要です。
- ◎ 作業時の気温が低いと接着が弱くなります。ヒートガン等で表面温度を20℃～30℃にあたためると接着性が良くなります。
- ◎ PACプライマー塗布時に車両塗装面にはみ出した場合は、早急にイソプロピルアルコール等で拭き取ってください。

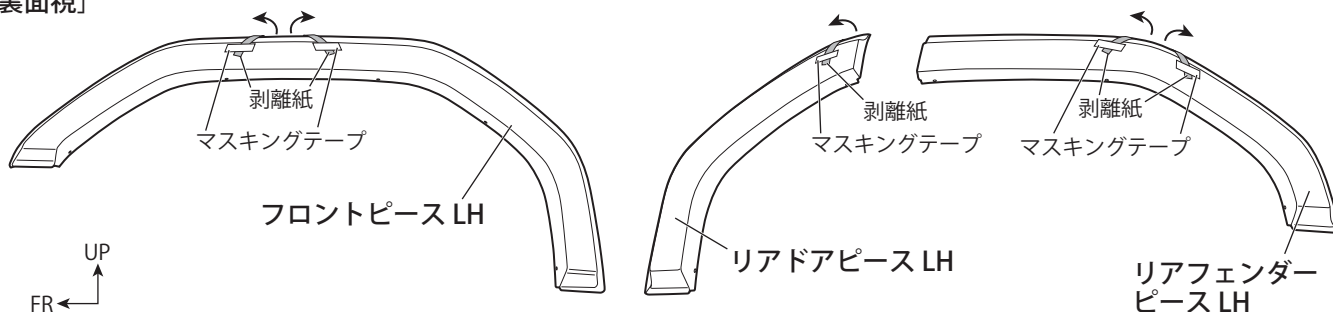
組付手順

6. 各ピースの両面テープ剥離紙めくり

- ①フロントピース、リアドアピース、リアフェンダーピースに貼り付けた両面テープの剥離紙を一部表側にめくり、マスキングテープで固定します。

※LH図示 左右同様

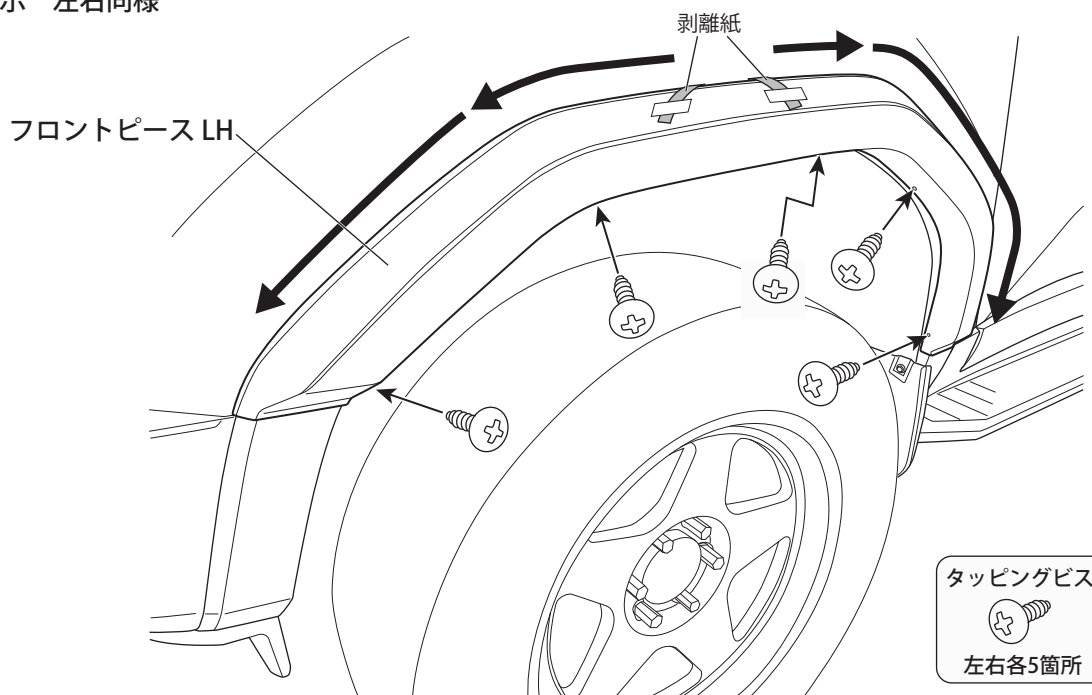
[裏面視]



7. フロントピースの取り付け

- ①フロントピースを車両オーバーフェンダー形状に合わせて仮当てし、タッピングビスを仮締めして仮固定します。(左右各5箇所)
- ②取り付け位置、各部のクリアランス等を確認して両面テープの剥離紙を下図矢印の方向に剥がしながら十分に圧着します。
- ③仮締めしたタッピングビスを本締めします。(左右各5箇所)
- ④ガタツキがないか最終確認し、作業終了になります。

※LH図示 左右同様



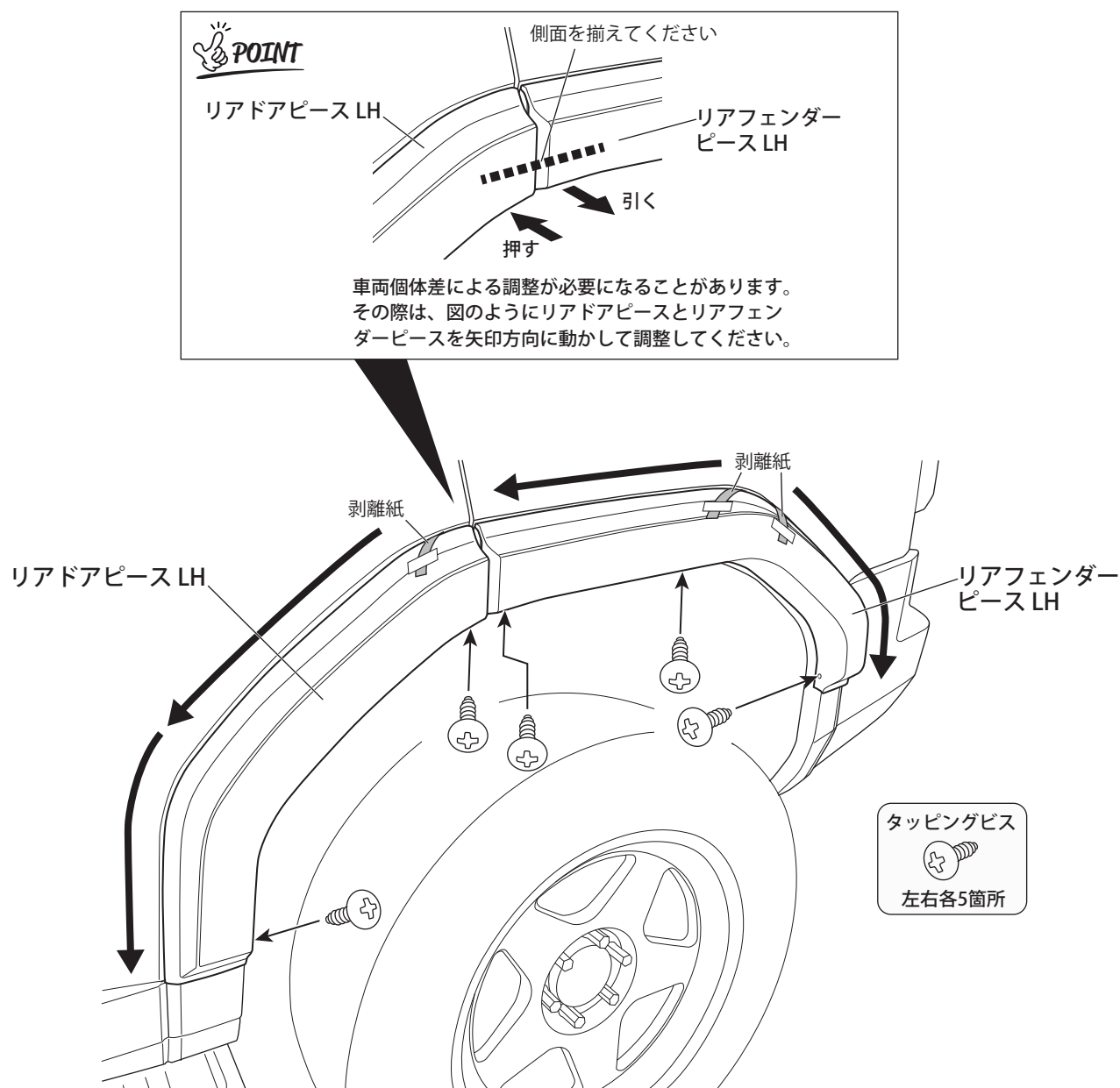
- ◎ 作業時の気温が低いと接着が弱くなります。ヒートガン等で表面温度を20℃～30℃にあたためると接着性が良くなります。
- ◎ 推奨養生期間は室温（23℃）で24時間以上です。

組付手順

8. リアドアピース、リアフェンダーピースの取り付け

- ①リアドアピース、リアフェンダーピースを車両オーバーフェンダー形状に合わせて仮あてし、タッピングビスを仮締めして仮固定します。（左右各5箇所）
- ②取り付け位置、各部のクリアランス等を確認して両面テープの剥離紙を下図矢印の方向に剥がしながら十分に圧着します。
- ③仮締めしたタッピングビスを本締めします。（左右各5箇所）
- ④ガタツキがないか最終確認し、作業終了になります。

※LH図示 左右同様



- ◎ 作業時の気温が低いと接着が弱くなります。ヒートガン等で表面温度を20℃～30℃にあたためると接着性が良くなります。
- ◎ 推奨養生期間は室温（23℃）で24時間以上です。



株式会社フォーバイフォーエンジニアリングサービス

<https://www.4x4es.co.jp>

E-mail : info@4x4es.co.jp